



新治小学校だより

令和元(2019)年度

12月号

学校教育目標：ひびく心 はすむ体 見つめる目

～子どもたちの心に寄り添いながら、地域社会とともに歩む学校を目指して～

ホームページ：<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/niiharu/>

令和元年 11月 29日

「新治のよさを活かした、よりよい学校をめざして」

副校長 板橋 典子

地域の方にいただいた花が本校の玄関を華やかにしています。時々、その花が増えていることがあります。そっと花を加えてくださる、そんな品格ある優しさに心が温かくなります。

今月は読書週間がありました。昇降口の「読書の森」には子どもたちが読んだ本の題名や感想を記入した、たくさんの葉がつけました。本校では地域や保護者のボランティアの方々が、心を尽くして本を選び表現豊かに読み聞かせをしてくださいます。朝を良い気分でスタートするための心遣いや、子どもたちの健やかな育成を願う強い思いが感じられ、読書力の向上につながっています。



11月9日(土)には「わくわくデー」を開催し、「生活科」「総合的な学習の時間」などで取り組んでいる学習についてご覧いただきました。「にこにこ おみせやさん」「わくわく やさい ランド」「知る?知る!シルク」「わくわく!おもちゃ工房」「新治紺屋」「こちら わら細工村」「新治のまちと人」「わくわく しぜん ゲームコーナー」「お茶コーナー」。どのコーナーも新治の豊かな自然とこれまで取り組んできた学習が活かされていました。「来て来て!」と積極的に声をかけて学習の様子を自分の言葉で語る子や、恥ずかしそうに説明を始める子など、発表したり体験を通して交流したりする様々な子どもたちの姿が見られました。共通して感じられたのは、着実に子ども自身が経験を通して力を身につけている成長の様子です。事前準備から当日の運営に至るまでご協力いただきました PTA 役員および保護者、地域支援コーディネーターや地域の方々、またご来校いただきました多くの皆様に改めて感謝を申し上げます。どうもありがとうございました。



本校では中期学校経営目標である「新治のよさを持続して活かしながら、よりよい社会を創ろうとする子どもを育む学校」をめざし、子どもたちがより主体的に取り組めるよう、日々、行事やカリキュラムなどの改善を図っています。例えば、今年度の「わくわくデー」では「参観時間の変更」、「ねらいの焦点化」に取り組みました。

年末の時期になり、今年度の反省と来年度に向けての計画、新学習指導要領の実施の準備を教職員で進めているところです。児童だけでなく大人も連携・協働して「新治のよさ」を活かしたよりよい学校を目指していきたいと思っております。

年の瀬も押し迫って参りました。皆様にはいつもお力添えをいただきましてありがとうございます。どうぞ良いお年をお迎えください。